

## 自然科学技術研究科の設置について

岐阜大学は、平成29年4月に「工学研究科」と「応用生物科学研究科」ならびに「医学系研究科再生医科学専攻」を再編・整備し、新たに《自然科学技術研究科（修士課程）》を設置します。

### 自然科学技術研究科の目指すもの

生命科学、環境科学、ものづくりに強い関心を持ち、特定分野の専門性を拡張できる柔軟性や新しい概念を生み出す創造性、さらには世界との繋がりの中で活躍できる国際性を持った**高度理工系人材**の育成を通じて、地域社会の活性化を目指す。

### 自然科学技術研究科の特色ある教育内容

#### 岐阜大学版デザイン思考教育

アイデア力、洞察力（インサイト）に加えて、チームワークやリーダーシップによるマネジメント力、さらには科学・技術者として必要な倫理観、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を培うための教育を実施する。

#### 英語で実施するグローバル型人材教育プログラム

専攻・領域の専門性を踏まえた新たな英語による特別教育プログラム「アドバンスドグローバルコース」(AGC)を新設する。

アドバンスドグローバルコースでは、日本人と留学生が混在する環境の中で、専門性を担保しながら英語による実践的な教育を行うことによって、国際社会でグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成する。

### 再編概要

#### ◀ 現行 ▶

#### 工学研究科（博士前期課程）

専攻名	
社会基盤工学	応用情報学
機械システム工学	機能材料工学
応用化学	人間情報システム工学
電気電子工学	数理テラサイエンス工学
生命工学	環境エネルギーシステム

#### 応用生物科学研究科（修士課程）

専攻名
応用生命科学
生産環境科学

#### 医学系研究科（博士前期課程）

専攻名
再生医科学

本学の強みである「生命科学」、  
「環境科学」及び「ものづくり」と  
いう分野に再編・整備

### 自然科学技術研究科

専攻名	概要（人材育成像）
生命科学・化学	生命現象を分子レベルから究明し、その学理と技術を生命・生活の質向上、健康維持・増進に資する人材を育成する。
生物生産環境科学	分子から生態系までの生物学の幅広い階層とそれを取り巻く環境についての学理を追求し、その理論と技術を持続可能な生物生産や人間社会を含む生態系の保全・修復に資する人材を育成する。
環境社会基盤工学	自然環境や社会環境に配慮し、安全で安心な社会の形成に資する人材を育成する。
物質・ものづくり工学	ものづくりにおけるイノベーション技術の創成に資する人材を育成する。
知能理工学	物理・数学に立脚した最先端知能情報・機械システムの構築を柱に、オリジナルかつ柔軟な発想によりイノベーションを起こす人材を育成する。
エネルギー工学	エネルギーに関連する複雑化する課題を多方面から捉え、エネルギー工学の新しい学問体系による実践的教育等を通じて、エネルギー諸問題の解決に貢献できる人材を育成する。

生命科学

環境科学

ものづくり

# 学生定員の移行

(改組前)

(改組後)

## 医学系研究科

専攻		定員	学位
博士前期	再生医科学	11	修士(再生医科学)

## 工学研究科

専攻		定員	学位
博士前期課程	社会基盤工学	29	修士(工学)
	機械システム工学	34	
	応用化学	26	
	電気電子工学	29	
	生命工学	29	
	応用情報学	33	
	機能材料工学	26	
	人間情報システム工学	24	
	数理デザイン工学	13	
	環境エネルギーシステム	32	
合計	275		

## 応用生物科学研究科

専攻		定員	学位
修士課程	応用生命科学	45	修士(応用生物科学)
	生産環境科学	44	
	合計	89	

## 自然科学技術研究科

専攻		領域	定員	学位
修士課程	生命科学・化学	生命工学創薬	82	修士(工学) 修士(応用生物科学)
		生命工学化学		
		分子生命科学 食品生命科学		
	生物生産環境科学	応用動物科学	44	修士(応用生物科学)
		応用植物科学 環境生態科学		
	環境社会基盤工学	環境 防災	29	修士(工学)
	物質・ものづくり工学	物質化学 設計生産	67	修士(工学)
	知能理工学	知能機械 知能情報学 応用数学物理	81	修士(工学)
エネルギー工学	エネルギー変換 電気エネルギー	72	修士(工学)	
合計			375	